

令和7年11月28日（金）

救命講習会（職員研修）を実施

11月27日（木）13:30～15:00にかけて、教員15名が参加して、体育館で救命講習会（職員研修）を実施しました。

講習会では、那珂市東消防署の署員を講師として招いて、「改訂6版 応急手当講習テキスト 救急車が来るまでに（制作 一般社団法人 救急振興財団）」を使って、①心停止の予防、②心停止の早期認識と通報、③一次救命措置（心肺蘇生とAED）などについて、説明していただきました。

次に、心肺蘇生の手順を確認しました。そして、心肺蘇生練習用の人形を使って、胸骨圧迫方法について、圧迫部位、両手の組み方、垂直に圧迫することなどを意識して、2分間続けることを目安に練習しました。また、人工呼吸について、気道確保（頭部後屈あご先拳上法）のやり方を確認しました。

その後、AEDの使用手順について、確認しました。

最後に、3名程度のチームを組んで、救急車が到着するまでの対応の練習をしました。安全確認、反応の確認、119番の通報、AEDの手配、呼吸の確認、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用の流れを、声を出して、確認しながら進めました。

その他に、傷病者の体位の管理として、回復体位のやり方について2人1組で、1人が傷病者の役となって確認しました。回復体位は、のどの奥の空気の通り道が狭まったり、吐物で詰まったりすることを予防することが期待できるそうです。

講習会のまとめとして、講師の方から「突然倒れた人や、反応のない人を見たら、直ちに心停止を疑うことが大切である。救急車が来るまでの救命処置により、傷病者の命を救うことができる可能性が高くなる。緊急時に後ろに下がるのではなく、一歩前に出てもらいたい」と話がありました。

